

誰もが自分らしく暮らせる総社

【目的】障がい者やその家族が自分らしく過せる環境を作る。同じ悩みを抱える人達の交流の場を作り、今よりもっと楽しく安心して暮らせる総社市にし、総社市を活性化させる。

【概要】障がい者、その家族を対象としたイベントを定期的実施する。必要なサービスについてのアンケートを実施する。

背景・現状

- ・障がい者の人口が年々増加している。総社市は、乳幼児健康診査結果における発達障がいの疑いがある児の率が県と比較してかなり高く推移している。
- ・障がい者への支援は積極的に行っているが、障がい者の家族に対するケア、支援が総社市に限らず、全国的に行き届いていない。
- ・障がい者家族は、悩みや不安を抱いても、差別や偏見を恐れ一人で抱え込み、うつ状態になるケースが少なくない。そのため、障がい者やその家族がさらに安心して自分らしく暮らせるための活動が必要。

対象

- ・市内在住・在勤の障がい者、その家族

具体的内容

【実施主体】市

- ・表現教育に力を入れている環太平洋大学と連携し、歌やダンスなどを通して交流し自らを表現し、自己理解・他者理解を深めるイベントを行う
- ・イベントに相談所(専門の相談員)を設置し、総社市で行っている福祉サービスについての相談や心のケアを行う
- ・どんなサービスが必要とされているか、困りごとはないかなどのアンケートを実施

あなたの役割

- ・環太平洋大学の学生や団体に参加を呼びかける。

予算規模:約30万円

- ・チラシ・アンケート用紙作成等事務経費→約15万円
- ・雑費→約10万円

見込める効果・期限

- ・自己理解・他者理解が深まる。
- ・相談できる人ができる。
- ・福祉サービスの周知ができる。
- ・必要とされているサービスを知ることによって福祉サービスの向上につなげることができる。

実行上の課題

効果が目に見えにくい